

令和2年度

事業報告書

決算書

目 次

I - I. 令和2年度事業報告書	
1. 事業概況（令和2年度を振り返って）	3
2. 総 裁	3
3. 役員構成	3
4. 会員数	3
5. 会議等	4
6. 登記事項	4
7. 組織及び職員数	5
8. 恩賜発明賞・恩賜記念賞の贈呈	6
9. 発明奨励振興事業	6
(1) 全国発明表彰	6
(2) 地方発明表彰	7
(3) 戦後日本のイノベーション100選	7
10. 青少年創造性開発育成事業	7
(1) 全日本学生児童発明くふう展	7
(2) 未来の科学の夢絵画展	8
(3) 未来の科学の夢絵画展 ネット美術館	8
(4) 少年少女発明クラブ事業	9
(5) 全国少年少女チャレンジ創造コンテスト	9
(6) 東京都児童生徒発明くふう展	9
(7) 青少年創造性開発育成海外交流	10
(8) 発明の日及び科学技術週間協賛事業	10
(9) 青少年創造性開発育成委員会	10
(10) 青少年創造性開発育成事業へのご協賛	10
11. 知的財産権制度普及等事業	10
国際知的財産保護フォーラム	10
12. 地域機関との相互連携	10
発明協会会長等懇談会（8地方ブロック）	10
13. 関係省庁への協力	11
(1) 文部科学省表彰関係事業への協力	11
(2) 特許庁知財功労賞への協力	11
14. 東京発明推進協議会の活動	11
15. 公益事業の広報活動	11
I - II. 事業報告書の附属明細書	
事業報告書の附属明細書	12
II. 令和2年度決算書	
貸借対照表	13
正味財産増減計算書	14
正味財産増減計算書内訳表	15
財務諸表に対する注記	16
附属明細書	17
財産目録	18
収支計算書	20
収支計算書（資金ベース）	21

I. 令和2年度事業報告書

1. 事業概況（令和2年度を振り返って）

当協会は、我が国科学技術の振興と産業経済の発展に貢献するため、令和2年度においても引き続き、発明の奨励、青少年の創造性開発育成、知的財産権制度普及等の公益事業を着実に推進した。

発明奨励振興事業においては、全国発明表彰で恩賜発明賞ほか各賞を贈呈するとともに、全国8ブロックで地方発明表彰を実施した。青少年創造性開発育成事業においては、企業等からの協賛を得て、全日本学生児童発明くふう展、未来の科学の夢絵画展、少年少女発明クラブ事業等を実施した。

なお、新型コロナウイルス感染症対策として、各事業における選考を一部オンライン等に切り替えたほか、職員に対してはテレワークや時差出勤を推奨し、職場での感染防止に努めた。

以下、令和2年度の事業について報告する。

2. 総 裁 常 陸 宮 殿 下

3. 役 員 構 成 （令和3年3月31日現在）

会 長	1名	（代表理事）
副 会 長	5名	（うち1名代表理事）
専務理事	1名	（業務執行理事）
常務理事	2名	（業務執行理事）
理 事	34名	
監 査 役	2名	
特別顧問	3名	
顧 問	2名	
幹 事	119名	

4. 会 員 数 （令和3年3月31日現在）

388社・名

5. 会 議 等

(1) 定時総会

日 時 令和 2 年 6 月 15 日 13 : 15 ~ 13 : 50
場 所 虎の門三丁目ビルディング 1 階研修室
議 事 < 決議事項 >
第 1 号議案 令和元年度事業報告及び決算承認の件
第 2 号議案 理事選任の件
< 報告事項 >
令和 2 年度事業計画及び同収支予算報告の件

(2) 理事会

① 理事会の省略による決議の方法により、当該議案が議決された。

議 案 (1) 令和元年度事業報告及び決算 (案) の件
(2) 理事選任 (案) の件
(3) 定時総会の招集 (案) の件
(4) 幹事の推薦の件

決議があったものと見なされた日 令和 2 年 5 月 25 日

② 理事会の省略による決議の方法により、当該議案が議決された。

議 案 (1) 特別顧問及び顧問の推薦の件
(2) 幹事の推薦の件

決議があったものと見なされた日 令和 2 年 6 月 30 日

③ 理事会の省略による決議の方法により、当該議案が議決された。

議 案 令和 3 年度事業計画・同収支予算 (案) の件

決議があったものと見なされた日 令和 3 年 3 月 26 日

6. 登 記 事 項

役員変更登記 令和 2 年 6 月 30 日

8. 恩賜発明賞・恩賜記念賞の贈呈

皇室より御下賜金を拝受し、令和 2 年度全国発明表彰において、独創性に富む極めて優れた発明により我が国科学技術の振興と産業の発展に大きく貢献した発明者に恩賜発明賞を贈り、その榮譽を讃えた。また、第 79 回全日本学生児童発明くふう展において、最も優秀な作品を恩賜記念賞に選定した。

○恩賜発明賞 「超高密度 3 次元フラッシュメモリ構造とその製造方法の発明」

鬼頭 傑 (キオクシア株式会社) 青地 英明 (キオクシア株式会社)

勝又 竜太 (キオクシア株式会社) 木藤 大 (キオクシア株式会社)

田中 啓安 (キオクシア株式会社) 仁田山晃寛 (元 株式会社東芝)

○恩賜記念賞 「ドアの新型コロナウイルス不活化装置」

佐藤 琉碧 福島市立北信中学校 1 年

9. 発明奨励振興事業

(1) 全国発明表彰

主催 発明協会

後援 文部科学省、経済産業省、特許庁、日本経済団体連合会、日本商工会議所、日本弁理士会、朝日新聞社

令和 2 年度は、地域の発明協会、企業、関係団体等からの推薦により、意匠・電気・化学・機械及び未来創造専門部会を経て、令和 2 年 8 月 3 日の選考委員会において、第 1 表彰区分として恩賜発明賞、内閣総理大臣賞等の特別賞ほか各賞を、第 2 表彰区分として未来創造発明賞及び未来創造発明奨励賞を選考した。

また、恩賜発明賞、内閣総理大臣賞等特別賞を受賞した法人の代表者に発明実施功績賞を、未来創造発明賞、未来創造発明奨励賞を受賞した法人の代表者に未来創造発明貢献賞をそれぞれ贈呈した。

表彰式は新型コロナウイルス感染症の拡大が収束しないため中止し、受賞者には賞状、副賞等を送付した。

○第 1 表彰区分

恩賜発明賞 1 件 6 名 特別賞 9 件 34 名

発明賞 10 件 46 名 発明実施功績賞 10 件 10 名

○第 2 表彰区分

未来創造発明賞 1 件 8 名 未来創造発明奨励賞 2 件 5 名

未来創造発明貢献賞 3 件 4 名

○発明奨励功労賞 11 名

なお、恩賜発明賞の受賞者には畠山一清賞を贈呈し、特別賞、未来創造発明賞及び未来創造発明奨励賞受賞者にはそれぞれ発明奨励金を贈呈した。

(2) 地方発明表彰

- 主催 発明協会
共催 46道府県発明協会
後援 文部科学省、特許庁、中小企業庁、各経済産業局、北海道、青森県、
神奈川県、富山県、滋賀県、島根県、高知県、長崎県、日本弁理士会、
工業所有権電子情報化センター

令和2年度は、地域の発明協会から多数推薦された中から、令和2年7月17日に開催した中央選考委員会、8月下旬に開催した地方選考委員会（書面開催）において各賞を選考した。

表彰式は、10月下旬から11月下旬にかけて以下のとおり挙行し、計445件、1,317名を表彰した。

- | | | |
|-------------|--|---------|
| ・北海道地方発明表彰式 | 10月30日 | 北海道函館市 |
| ・東北地方発明表彰式 | 11月20日 | 青森県青森市 |
| ・関東地方発明表彰式 | 11月12日 | 神奈川県横浜市 |
| ・中部地方発明表彰式 | 11月18日 | 富山県富山市 |
| ・近畿地方発明表彰式 | 11月19日 | 滋賀県大津市 |
| ・中国地方発明表彰式 | 10月26日 | 島根県松江市 |
| ・四国地方発明表彰式 | 10月23日 | 高知県高知市 |
| ・九州地方発明表彰式 | 新型コロナウイルス感染症の拡大を受け中止。
(受賞者には賞状、副賞を送付) | |

(3) 戦後日本のイノベーション100選

戦後日本で成長を遂げ、我が国産業経済の発展に貢献したイノベーションを紹介する特設サイトの運営を行った。

10. 青少年創造性開発育成事業

(1) 全日本学生児童発明くふう展

- 主催 発明協会
後援 文部科学省、経済産業省、特許庁、世界知的所有権機関、日本弁理士会、
NHK、毎日新聞社、日本科学技術振興財団・科学技術館、全国連合小学校長会、
全日本中学校長会、全国高等学校長協会、全国工業高等学校長協会

①第78回全日本学生児童発明くふう展

令和2年度に延期した同展覧会・表彰式の開催については、新型コロナウイルス感染症の拡大が収束しないため中止した。

②第 79 回全日本学生児童発明くふう展

令和 2 年度は、各地域で開催された発明くふう展等において優秀な成績を収めた作品を中心に地域の発明協会より推薦された 551 作品と、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により県内コンクールを実施しなかった地域から直接応募された 225 作品、合計 776 作品の応募があった。これらの作品について、審査幹事会及び審査委員会を開催し（書面・動画による選考）、令和 3 年 2 月 5 日に恩賜記念賞、内閣総理大臣賞等の特別賞ほか各賞を決定した。

なお、3 月下旬に開催を予定していた展覧会及び表彰式については、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため令和 3 年度に開催を延期した。

・第 79 回全日本学生児童発明くふう展入賞作品

○恩賜記念賞 1 点 ○特別賞 13 点 ○奨励賞 20 点 ○入選 122 点

(2) 未来の科学の夢絵画展

主催 発明協会

後援 文部科学省、経済産業省、特許庁、日本弁理士会、NHK、朝日新聞社、朝日小学生新聞、朝日中高生新聞、日本美術教育連合、美育文化協会

①第 42 回未来の科学の夢絵画展

令和 2 年度に延期した同展覧会・表彰式の開催については、新型コロナウイルス感染症の拡大が収束しないため中止した。

②第 43 回未来の科学の夢絵画展

令和 2 年度は、全国の小・中学校、幼稚園・保育園及び外国人学校の児童生徒から応募のあった 8,597 点の作品について令和 3 年 3 月 19 日に開催した審査委員会（オンライン会議）にて文部科学大臣賞等の特別賞ほか各賞を選考した。

なお、上記 10. (1)「第 79 回全日本学生児童発明くふう展」と同時開催を予定していた展覧会及び表彰式については、令和 3 年度に開催を延期した。

・「小学校・中学校の部」

○特別賞 11 点 ○優秀賞 48 点 ○奨励賞 81 点

・「幼稚園・保育園の部」

○特別賞 1 点 ○優秀賞 5 点 ○奨励賞 40 点

・「外国人学校の部」

○特別賞 1 点 ○優秀賞 5 点 ○奨励賞 10 点

(3) 未来の科学の夢絵画展 ネット美術館

本絵画展の受賞作品と各国の公益機関等から推薦を受けた青少年の絵画作品をネット美術館（Web サイト）掲載し、広く一般に本事業の成果を発信した。

(4) 少年少女発明クラブ事業

① 少年少女発明クラブ

次の世代を担う人材を育成するため、全国各地域の発明クラブにおいて創造性を育成する活動を行った。なお、令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、25 のクラブが年間の活動を中止した。

- ・発明クラブ設置数：214 クラブ（令和 3 年 3 月 31 日現在）
- ・クラブ員数：約 7,600 名
- ・指導員数：約 2,800 名

② 第 85 回少年少女発明クラブ全国会議

令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大が収束しないため開催を中止した。

③ 少年少女発明クラブ指導員表彰

少年少女発明クラブにおける指導活動に多年従事し、青少年の創造性開発育成に関し特に功績のあった指導員 49 名(24 クラブ)に対し、感謝状を贈呈した。

④ 少年少女発明クラブ指導員研修会

少年少女発明クラブ指導員の資質の向上と情報交換を目的とした、ブロック別研修会（1 ブロック）及び都道府県別研修会（1 か所）を開催した。

⑤ 少年少女発明クラブニュースの発行

少年少女発明クラブにおける創意工夫活動の成果、各種イベントの告知・報告等を掲載した「少年少女発明クラブニュース」を隔月（計 6 回）で発行し、全国の少年少女発明クラブ、地域の発明協会、地方自治体、科学館等を通じて広く一般に配布した。

⑥ 「はつめいキッズ」ホームページの運営

青少年の創造性開発育成活動の成果普及を図ることを目的に、少年少女発明クラブをはじめとした本事業全般を紹介するホームページ「はつめいキッズ」を運営した。

* 本事業の①、⑤については、競輪の補助を受けて実施した。

(5) 全国少年少女チャレンジ創造コンテスト

令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大が収束しないため開催を中止した。

(6) 東京都児童生徒発明くふう展

毎年度、東京都からの受託事業として実施している同展について、令和 2 年度は主催者である東京都の判断により開催を中止した。

(7) 青少年創造性開発育成海外交流

令和 2 年 9 月にロシアで開催を予定していた世界青少年発明工夫展 (IEYI) は、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により参加各国が協議の上、ビデオ審査形式での開催となった (主催: 台湾創意発展協会)。

日本からは、第78回全日本学生児童発明くふう展、第42回未来の科学の夢絵画展及び第10回全国少年少女チャレンジ創造コンテストにおいて優秀な成績を収めた青少年25名 (創作品13点と絵画8点) が英語による作品紹介ビデオを作成して同展に参加、以下の各賞を受賞した。

・日本派遣団受賞結果

○金賞 10 点 ○銀賞 2 点 ○銅賞 9 点

(8) 発明の日及び科学技術週間協賛事業

発明の日 (令和 2 年 4 月 18 日) 及び科学技術週間 (令和 2 年 4 月 13 日から 19 日) 協賛事業として、当協会、地域の発明協会及び全国の少年少女発明クラブにおいて公開発明教室、発明クラブ作品展等を行った。

(9) 青少年創造性開発育成委員会

創造性開発育成事業の拡充・強化等について審議を行うため、「第 40 回青少年創造性開発育成委員会」を書面により開催した。

(10) 青少年創造性開発育成事業へのご協賛

当協会が行う青少年創造性開発育成事業について、広く産業界からの事業協賛を募り同事業の更なる充実を図った。

令和 2 年度においては、以下の協賛を得た。

- ・ゴールドスポンサー 9 社・団体
- ・シルバースポンサー 8 社
- ・ブロンズスポンサー 20 社
- ・寄附 5 社

11. 知的財産権制度普及等事業

国際知的財産保護フォーラム

国際知的財産保護フォーラム (IIPPF) の活動に企画委員として参画した。令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大が収束しないため、例年開催している「出張 IP カルチャー教室」及び真正品、模倣品・海賊版の展示を中止した。

12. 地域機関との相互連携

発明協会会長等懇談会 (8 地方ブロック)

地方発明表彰式にあわせ例年開催している地域協会会長等との懇談会は、新型コロナウイルス感染症の拡大が収束しないため中止した。

13. 関係省庁への協力

(1) 文部科学省表彰関係事業への協力

科学技術の振興と発明の普及に寄与するため、叙勲、褒章及び文部科学大臣表彰科学技術賞（開発部門、技術部門等）の表彰対象者の調査・推薦を行った。

(2) 特許庁知財功労賞への協力

経済産業省・特許庁が実施した「知的財産権制度関係功労者表彰」及び「知的財産権制度活用優良企業等表彰」の候補者・候補企業の調査・推薦を行った。

14. 東京発明推進協議会の活動

同協議会が主催し、毎年開催していた新年賀詞交歓会については、新型コロナウイルス感染症の拡大が収束しないため中止した。

15. 公益事業の広報活動

当協会機関紙「月報はつめい」を会員ほか広く一般に配付するとともにホームページにおいて広報活動に努めた。

I－II. 事業報告書の附属明細書

令和2年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和3年5月
公益社団法人 発明協会

貸借対照表

令和3年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金及び預金	131,304,794	75,529,054	55,775,740
未収入金	13,966,371	28,875,261	△ 14,908,890
預け金	9,745,281	1,619,582	8,125,699
前払費用	1,052,317	2,735,317	△ 1,683,000
流動資産合計	156,068,763	108,759,214	47,309,549
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
青少年創造特定資産	6,000,000	6,000,000	0
退職給付引当資産	23,320,833	18,208,333	5,112,500
特定資産合計	29,320,833	24,208,333	5,112,500
(2) その他固定資産			
その他固定資産合計	0	0	0
固定資産合計	29,320,833	24,208,333	5,112,500
資産合計	185,389,596	132,967,547	52,422,049
II 負債の部			
1. 流動負債			
買掛金	1,920,994	3,927,463	△ 2,006,469
未払金	57,341,227	55,526,127	1,815,100
前受金	8,290,000	5,070,000	3,220,000
仮受金	10,748,021	11,819,848	△ 1,071,827
預り金	884,915	776,803	108,112
流動負債合計	79,185,157	77,120,241	2,064,916
2. 固定負債			
退職給付引当金	23,320,833	18,208,333	5,112,500
固定負債合計	23,320,833	18,208,333	5,112,500
負債合計	102,505,990	95,328,574	7,177,416
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
2. 一般正味財産	82,883,606	37,638,973	45,244,633
(うち特定資産への充当額)	(6,000,000)	(6,000,000)	(0)
正味財産合計	82,883,606	37,638,973	45,244,633
負債及び正味財産合計	185,389,596	132,967,547	52,422,049

正味財産増減計算書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
〔1〕経常増減の部			
1. 経常収益			
(1) 御下賜金	50,000	50,000	0
(2) 受取会費	30,480,000	30,920,000	△ 440,000
(3) 事業収益	1,000,000	3,472,964	△ 2,472,964
① 発明奨励振興事業収益	(1,000,000)	(3,472,964)	(△ 2,472,964)
(4) 受取補助金等	11,966,371	29,357,963	△ 17,391,592
① JKA補助金	(11,966,371)	(29,357,963)	(△ 17,391,592)
(5) 受取寄附金・受取協賛金等	254,706,181	265,441,670	△ 10,735,489
① 資金寄附収益	(194,298,000)	(198,508,000)	(△ 4,210,000)
② 協賛金収益	(31,818,181)	(37,533,670)	(△ 5,715,489)
③ 資金寄附振替額	(28,590,000)	(29,400,000)	(△ 810,000)
(6) 雑収益	1,121,490	1,171,093	△ 49,603
① 雑収益	(1,120,923)	(1,170,576)	(△ 49,653)
② 受取利息	(567)	(517)	(50)
経常収益計	299,324,042	330,413,690	△ 31,089,648
2. 経常費用			
(1) 事業費	223,733,263	269,933,618	△ 46,200,355
① 発明奨励振興事業費	(104,484,904)	(151,437,571)	(△ 46,952,667)
② 事業人件費	(105,567,900)	(103,011,653)	(2,556,247)
③ 事業事務費	(13,680,459)	(15,484,394)	(△ 1,803,935)
(2) 管理費	30,346,146	42,223,127	△ 11,876,981
① 人件費	(9,586,676)	(6,946,798)	(2,639,878)
② 事務費	(20,759,470)	(35,276,329)	(△ 14,516,859)
経常費用計	254,079,409	312,156,745	△ 58,077,336
当期経常増減額	45,244,633	18,256,945	26,987,688
〔2〕経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	45,244,633	18,256,945	26,987,688
一般正味財産期首残高	37,638,973	19,382,028	18,256,945
一般正味財産期末残高	82,883,606	37,638,973	45,244,633
II 指定正味財産増減の部			
(1) 受取寄附金	28,590,000	29,400,000	△ 810,000
① 資金寄附	(28,590,000)	(29,400,000)	(△ 810,000)
(2) 一般正味財産への振替額	△ 28,590,000	△ 29,400,000	810,000
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	82,883,606	37,638,973	45,244,633

正味財産増減計算書内訳表

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計		法人会計	内部取引 等消去	合計
	公1 発明奨励等	小計			
I 一般正味財産増減の部					
[1]経常増減の部					
1. 経常収益					
(1) 御下賜金	50,000	50,000	0		50,000
(2) 受取会費	15,240,000	15,240,000	15,240,000		30,480,000
(3) 事業収益	1,000,000	1,000,000	0		1,000,000
① 発明奨励振興事業収益	(1,000,000)	(1,000,000)	(0)		(1,000,000)
(4) 受取補助金等	11,966,371	11,966,371	0		11,966,371
① JKA補助金	(11,966,371)	(11,966,371)	(0)		(11,966,371)
(5) 受取寄附金・受取協賛金等	195,476,892	195,476,892	59,229,289		254,706,181
① 資金寄附収益	(135,068,711)	(135,068,711)	(59,229,289)		(194,298,000)
② 協賛金収益	(31,818,181)	(31,818,181)	(0)		(31,818,181)
③ 資金寄附振替額	(28,590,000)	(28,590,000)	(0)		(28,590,000)
(6) 雑収益	0	0	1,121,490		1,121,490
① 雑収益	(0)	(0)	(1,120,923)		(1,120,923)
② 受取利息	(0)	(0)	(567)		(567)
経常収益計	223,733,263	223,733,263	75,590,779		299,324,042
2. 経常費用					
(1) 事業費	223,733,263	223,733,263	0		223,733,263
① 発明奨励振興事業費	(104,484,904)	(104,484,904)	(0)		(104,484,904)
② 事業人件費	(105,567,900)	(105,567,900)	(0)		(105,567,900)
③ 事業事務費	(13,680,459)	(13,680,459)	(0)		(13,680,459)
(2) 管理費	0	0	30,346,146		30,346,146
① 人件費	(0)	(0)	(9,586,676)		(9,586,676)
② 事務費	(0)	(0)	(20,759,470)		(20,759,470)
経常費用計	223,733,263	223,733,263	30,346,146		254,079,409
当期経常増減額	0	0	45,244,633		45,244,633
[2]経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0		0
(2) 経常外費用					
経常外費用計	0	0	0		0
当期経常外増減額	0	0	0		0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	0	0	45,244,633		45,244,633
他会計振替額	0	0	0		0
当期一般正味財産増減額	0	0	45,244,633		45,244,633
一般正味財産期首残高	0	0	37,638,973		37,638,973
一般正味財産期末残高	0	0	82,883,606		82,883,606
II 指定正味財産増減の部					
(1) 受取寄附金	28,590,000	28,590,000	0		28,590,000
① 資金寄附	(28,590,000)	(28,590,000)	(0)		(28,590,000)
(2) 一般正味財産への振替額	△ 28,590,000	△ 28,590,000	0		△ 28,590,000
当期指定正味財産増減額	0	0	0		0
指定正味財産期首残高	0	0	0		0
指定正味財産期末残高	0	0	0		0
III 正味財産期末残高	0	0	82,883,606		82,883,606

財務諸表に対する注記

1. 継続組織の前提に関する注記

継続組織の前提に関する重要な疑義を生じさせるような事象または状況は存在しない。

2. 重要な会計方針

(1) 引当金の計上基準

退職給付引当金: 役員退職手当金については、役員の退職手当金支給に備えるため、規則に基づく期末要支給額を計上

(2) 消費税等の会計処理

税抜方式によっている。

3. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
青少年創造特定資産	6,000,000	0	0	6,000,000
退職給付引当資産	18,208,333	5,112,500	0	23,320,833
合 計	24,208,333	5,112,500	0	29,320,833

4. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
特定資産				
青少年創造特定資産	6,000,000	(—)	(6,000,000)	(—)
退職給付引当資産	23,320,833	(—)	(—)	(23,320,833)
合 計	29,320,833	(—)	(6,000,000)	(23,320,833)

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の 記載区分
補助金						
2020年度公益事業振興補助事業	公益財団法人JKA	0	11,966,371	11,966,371	0	—
合 計		0	11,966,371	11,966,371	0	

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内 容	金額
経常収益への振替額	
資金寄附振替額	28,590,000
合 計	28,590,000

附 属 明 細 書

1. 特定資産の明細

財務諸表に対する注記に記載のとおりである。

2. 引当金の明細

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当 期 減 少 額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	18,208,333	5,112,500	0	0	23,320,833

財 産 目 録

令和3年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)			
現金	手元保管	運転資金として	1,510,179
預金	当座預金(三井住友銀行本店営業部)	運転資金として	82,618,931
	普通預金(三井住友銀行本店営業部)	運転資金として	1,000,388
	普通預金(三井住友銀行本店営業部)	運転資金として	13,643,156
	普通預金(りそな銀行東京営業部)	運転資金として	29,480,370
	振替貯金(ゆうちょ銀行本店)	運転資金として	3,051,770
未収入金	公益財団法人 JKA他	公益目的事業に係る補助金他	13,966,371
預け金	札幌中島少年少女発明クラブ他	公益目的事業に係る運営事業費他	9,745,281
前払費用	一般社団法人発明推進協会他	公益目的事業及び管理業務に係る借室料他	1,052,317
流動資産合計			156,068,763
(固定資産)			
特定資産			
青少年創造特定資産	当座預金(三井住友銀行本店営業部)	青少年創造性育成開発	6,000,000
退職給付引当資産	当座預金(三井住友銀行本店営業部)	退職給付引当金見合の引当資産	23,320,833
特定資産合計			29,320,833
その他固定資産			
その他固定資産合計			0
固定資産合計			29,320,833
資産合計			185,389,596
(流動負債)			
買掛金	株式会社発明会館他	公益目的事業及び管理業務に係る発送料他	1,920,994
未払金	一般社団法人発明推進協会他	公益目的事業及び管理業務に係る出向料他	57,341,227
前受金	会員	公益目的事業及び管理業務に係る会費	8,290,000
仮受金	虎ノ門一・二丁目地区市街地再開発組合	移転補償金	10,748,021
預り金	芝税務署他	公益目的事業及び管理業務に係る所得税他	884,915
流動負債合計			79,185,157
(固定負債)			
退職給付引当金	役員に対するもの	退職金の支払いに備えるもの	23,320,833
固定負債合計			23,320,833
負債合計			102,505,990
正味財産			82,883,606

収 支 計 算 書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
〔1〕経常増減の部			
1. 経常収益			
(1) 御下賜金	50,000	50,000	0
(2) 受取会費	31,030,000	30,480,000	550,000
(3) 事業収益	3,408,000	1,000,000	2,408,000
① 発明奨励振興事業収益	(3,408,000)	(1,000,000)	(2,408,000)
(4) 受取補助金等	29,114,000	11,966,371	17,147,629
① JKA補助金	(29,114,000)	(11,966,371)	(17,147,629)
(5) 受取寄附金・受取協賛金等	256,268,000	254,706,181	1,561,819
① 資金寄附収益	(197,268,000)	(194,298,000)	(2,970,000)
② 協賛金収益	(39,000,000)	(31,818,181)	(7,181,819)
③ 資金寄附振替額	(20,000,000)	(28,590,000)	(△ 8,590,000)
(6) 雑収益	1,084,000	1,121,490	△ 37,490
① 雑収益	(1,084,000)	(1,120,923)	(△ 36,923)
② 受取利息	(0)	(567)	(△ 567)
経常収益計	320,954,000	299,324,042	21,629,958
2. 経常費用			0
(1) 事業費	292,628,000	223,733,263	68,894,737
① 発明奨励振興事業費	(181,803,000)	(104,484,904)	(77,318,096)
② 事業人件費	(93,151,000)	(105,567,900)	(△ 12,416,900)
③ 事業事務費	(17,674,000)	(13,680,459)	(3,993,541)
(2) 管理費	43,405,000	30,346,146	13,058,854
① 人件費	(6,764,000)	(9,586,676)	(△ 2,822,676)
② 事務費	(36,641,000)	(20,759,470)	(15,881,530)
経常費用計	336,033,000	254,079,409	81,953,591
当期経常増減額	△ 15,079,000	45,244,633	△ 60,323,633
〔2〕経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 15,079,000	45,244,633	△ 60,323,633
一般正味財産期首残高	17,485,000	37,638,973	△ 20,153,973
一般正味財産期末残高	2,406,000	82,883,606	△ 80,477,606
II 指定正味財産増減の部			
(1) 受取寄附金	20,000,000	28,590,000	△ 8,590,000
① 資金寄附	(20,000,000)	(28,590,000)	(△ 8,590,000)
(2) 一般正味財産への振替額	△ 20,000,000	△ 28,590,000	8,590,000
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	2,406,000	82,883,606	△ 80,477,606

(説明資料)

収 支 計 算 書 (資金ベース)

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位:円)

No.	科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
	I 事業活動収支の部			
	1. 事業活動収入			
1	(1) 御下賜金	50,000	50,000	0
2	(2) 会費収入	31,030,000	30,480,000	550,000
3	(3) 事業収入	3,408,000	1,000,000	2,408,000
4	① 発明奨励振興事業収入	(3,408,000)	(1,000,000)	(2,408,000)
5	(4) 補助金等収入	29,114,000	11,966,371	17,147,629
6	① JKA補助金収入	(29,114,000)	(11,966,371)	(17,147,629)
7	(5) 寄附金・協賛金収入	256,268,000	254,706,181	1,561,819
8	① 資金寄附収入	(217,268,000)	(222,888,000)	(△ 5,620,000)
9	② 協賛金収入	(39,000,000)	(31,818,181)	(7,181,819)
10	(6) 雑収入	1,084,000	1,121,490	△ 37,490
11	① 雑収入	(1,084,000)	(1,120,923)	(△ 36,923)
12	② 受取利息	(0)	(567)	(△ 567)
13	事業活動収入計	320,954,000	299,324,042	21,629,958
	2. 事業活動支出			
14	(1) 事業費支出	288,763,000	220,016,472	68,746,528
15	① 発明奨励振興事業支出	(181,803,000)	(104,484,904)	(77,318,096)
16	② 事業人件費	(93,151,000)	(105,567,900)	(△ 12,416,900)
17	③ 事業事務費	(13,809,000)	(9,963,668)	(3,845,332)
18	(2) 管理費支出	42,157,000	28,950,437	13,206,563
19	① 人件費	(6,764,000)	(9,586,676)	(△ 2,822,676)
20	② 事務費	(35,393,000)	(19,363,761)	(16,029,239)
21	事業活動支出計	330,920,000	248,966,909	81,953,091
22	事業活動収支差額	△ 9,966,000	50,357,133	△ 60,323,133
	II 投資活動収支の部			
	1. 投資活動収入			
23	(1) 特定資産取崩収入	3,000,000	0	3,000,000
24	投資活動収入計	3,000,000	0	3,000,000
	2. 投資活動支出			
25	(1) 特定資産支出	5,113,000	5,112,500	500
26	投資活動支出計	5,113,000	5,112,500	500
27	投資活動収支差額	△ 2,113,000	△ 5,112,500	2,999,500
28	当期収支差額	△ 12,079,000	45,244,633	△ 57,323,633
29	前期繰越収支差額	14,485,000	31,638,973	△ 17,153,973
30	次期繰越収支差額	2,406,000	76,883,606	△ 74,477,606

以上の通り相違ありません。

令和3年5月14日

公益社団法人 発 明 協 会

会 長 野 間 口 有

令和2年度事業報告書及び財務諸表について監査した結果、いずれも適正かつ
適法であることを認めます。

令和3年5月14日

監査役 石 井 宏 治

監査役 梶 原 徳 二

